

## 論文内容要旨

論文題名：心臓血管外科術後の体重増加の推移とリハビリテーション進行との関連の検討

専攻領域名：運動障害リハビリテーションと呼吸ケア領域

氏名：磯邊 崇

### 内容要旨

本研究の目的は術後の体重増加の推移を明らかにし、術式による差、術後のリハビリテーション進行との関連性を明らかにすることである。心臓血管外科手術患者を対象に手術直後体重増加率、術後増加した体重が術前体重に戻るまでの日数が術後のリハビリテーション進行に与える影響を検討した。

2018年4月1日から2019年3月31日までに心臓血管外科手術後にリハビリテーションを施行した82例（男性42例、女性40例）を対象とした。電子カルテデータから、年齢、性別、BMI、心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、中枢神経疾患、消化器疾患、整形外科疾患、精神疾患、高血圧、高脂血症、糖尿病の有無、手術術式、手術時間、麻酔時間、人工心肺時間、術中輸液量、術中輸血量、輸血製剤（赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤）、術中IN、術中OUT、術中IN-OUTバランス、術中出血量、人工心肺時間、大動脈遮断時間、術後体重増加率、術前体重に戻るまでの日数、歩行獲得日数、リハパス完遂日数、入院日数を調査した。また術後体重増加率が105%以上となる症例を術後体重増加群と定義した。

まず、術後体重増加率、術後体重が術前体重に戻るまでの日数、歩行獲得日数、リハパス完遂日数、入院日数を術式別の4群間と体重増加率別群の2群で比較した。次に術後体重増加群と非術後体重増加群の群間の比較とリハビリテーション進行状況との関連性を検討した。次に患者情報、手術関連情報、体重増加の推移の情報、リハビリテーション進行状況の群間の比較と関連性を検討した。最後にリハパス完遂日数をアウトカム、患者基本情報、手術関連情報、体重増加の推移の情報の中から相関分析により有意差がみられた因子を要因とする重回帰モデルを作成し、リハビリテーション進行状況と患者情報、手術関連情報、体重増加の推移に関連する情報との関連性を検討した。共変量には年齢、手術時間、輸液量、輸血量、人工心肺時間、術中IN-OUTバランス、術後体重増加率を投入した。

術式による術後体重増加率、術前体重に戻るまでの日数、歩行獲得日数、リハパス完遂日数、入院日数に差を認めなかった。心臓血管外科術後のリハビリテーション進行において、その影響力は大きいとはいえないものの、術後体重増加率と輸血量が関連していることが示唆された。特に体重増加群では、術後体重増加率がリハビリテーション進行に関連していることが示唆された。